

第7回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成29年7月28日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成29年7月28日（金）午前11時10分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
3番 佐藤 武君 4番 佐々木雄司君 8番 治徳 義明君
9番 原田 素代君 12番 北川 勝義君 13番 福木 京子君
16番 下山 哲司君 18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 教 育 長 内田 恵子君
総 務 部 長 前田 正之君 教 育 次 長 藤井 和彦君
総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成29年8月行事予定について
2) 平成29年9月定例会の会期日程（案）について
3) その他
・議会報告会について
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから平成29年第7回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん、おはようございます。

先週は議運として視察ということで西脇、それから丹波のほうへ行っていただきまして大変御苦労さまでございました。我々のところでやってることとちょっと違う新しい視察の内容があったかと思えます。議会の中でほとんどのところがタブレットを使ってるというようなことがあります。そういうことについてもやっぱり検討していかなくちゃいけないんだなというのを深く感じております。また、うちの中でまた委員会、基本条例とかそういう委員会の中でも、どこで検討していただくか決めていただければいいと思うんですが、また皆さんでいろいろ考えていただければと思うことでございました。

それから、それぞれのところが庁舎を修理をしたり新しく建てたりというふうなこともありまして、我が町もいろいろ考えなくちゃいけないんだなというふうに思ったところでございます。

暑い中でございます。皆さん、体には気をつけて頑張っていたきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成29年8月行事予定について。

議会事務局長、執行部のほうから説明をお願いします。

局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料に基づき御説明をいたします。

8月の議会行事予定（案）を見ていただきたいと思います。

主なものを御説明いたします。

8月16日水曜日10時から産業建設常任委員会、同じく17日木曜日10時から総務文教常任委員会、18日金曜日10時から厚生常任委員会を予定いたしております。

21日月曜日10時から議会基本条例特別委員会を開催します。

23日水曜日2時から岡山市議会議員研修会を赤磐市で予定いたしております。開催市が赤磐市ということでございますので、全議員の御参加をいただきますよう御案内をいたしております。当日は、駐車場の都合から市役所からマイクロバスでの送迎を予定しておりますので、よろしく願いをいたします。

それから、24日木曜日1時半から議会運営委員会に続きまして議会全員協議会を開催する予

定でございます。

8月31日木曜日からは9月定例会の開催を予定しておりまして、31日が本会議、それから9月1日金曜日が本会議、上程の2日目という予定で組ませていただいております。

説明は以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

総務部長。

○総務部長（前田正之君） それでは、市の執行部の行事予定、重立ったところを説明させていただきます。

なお、議会関係につきましては先ほど局長のほうからありましたので、割愛させていただきます。

まず、8月1日火曜日10時から山陽団地等活性化対策有識者会議を開催いたします。

8日火曜日14時から赤磐市自治連合会全体会議を開催させていただきます。

10日木曜日13時30分からは岡山県市長会議へ出席をいたします。

11日金曜日18時からであります、赤磐市の花火大会であります。お世話になります。

21日月曜日10時半からは教育委員会定例会を開催いたします。

26日土曜日10時からですが、赤坂ひまわりこども園の竣工式を開催いたします。また御案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上、重立ったところを御説明させていただきました。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから何か質疑はございませんか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 説明じゃねえんじゃけど、説明も聞かにゃおえんのじゃけど、議長が挨拶されて視察のことを言われて、議運で行かれたんで議運の委員長が言われるんじゃけえ言われて、挨拶の中で。別にけちをつけるんじゃねえけど。ええ研修じゃったと思うんじゃけど。ただ言よんのはどこで、庁舎のことは別にええと思うたけど、タブレットのことやこうはやっぱりここの議運だけで言うていくこっちゃいけん。ちょっとまた議会基本条例の方も2人行かれとったから、それはどこで諮れという、議長はそういう意味で言うたと思うけど、けちをつけよんじゃねえ、言うたと思うんじゃけど。はや入ってきて、そげえなもん、おえんで、タブレットはというて言う人ももうすぐあって、僕はようわからんから有意義なかつたんじゃねえかというだけしか話なんで、じゃけえどっか諮るところを、議運の委員長の決定で視察に行ったんじゃから、一応議運じゃが。議長の申し入れてして全協か何かで説明するようにしてもらわなったら、議運だけでやったとか議会基本条例でやって、また後トラブルというんが議長と例えば、例えばで、議長と議運の委員長が勝手なことをしたというて言うたら、またこんだ

らちょっともう反対じゃというてすぐ電話してきたけど、反対て何のことかいつも僕はわからなだけえ、ああ、ああというて流しとんじゃけど。ちょっとそこらもあるんで、ガス抜きというんじゃねえんじゃけど、ちょっとこっちが飛び越え過ぎたというてまた言われるんで、ええことじゃと思うんじゃけど、やること自体はよ。じゃけえ、みんなの意見を聞くことにしてもらいてえというんは、議長が言われたことにけちをつけるんじゃねえけど、今そう思うたんでそれが1個と。

それから、日程なんですけど、これもいっつも言よんじゃけど、これはええか悪いかわからんけど、今はっきり言わせてもらおうんじゃ、議運の委員長な、日程じゃから。議長、ちょっと批判するんじゃねえんじゃけえ、こらえてくたせえよ。

執行部のほうなんです、特に。議会行事予定のほうでも同じじゃけど、どっちも8月26日が赤坂のひまわりこども園竣工式ということで、各議員ということでやられておるんです。これでおえんとか悪いとか言いません。それが1点。

それから次に、9時半から赤磐市青少年剣道大会、赤坂中学校と、こういうことをやられるということでなっております。あのねえ、これ、何を僕が言いてえというたら、その後には下山議員は吉井じゃけえわかるかもしれんのじゃけど、すさい納涼祭りということで、諏訪神社の納涼夏祭りということで27日にはやるわけです。それから、26日は備前三大祭りでおすわ祭りというんがあるんで、これは夜じゃから別に何とかなるかもしれんのじゃけど。これね、前から言うてる。日程を組み重ねんようにしてくれということをお願いしとったんですよ。たまたまというたら、きょうし尿があつて東備農業共済があつたとかというのは、これはもういたし方がねえ。日程調整は各市町村じゃけど、これはもう単市でやりようるこっちゃから、このくれえのことは常識で考えてくれにゃいけんじゃねえかと思うて、いっつもいっつも。ほんなら、27日の青少年剣道大会のときは議長が赤坂中学校へ行かれとる。議長、ほんな来んということかと、例えばというたら間に合う、時間的にいうて、例えばの話がそうなるんで、来にゃ来んでええんじゃ。やり方として、今度やり方を考えてやりゃええんじゃけど。森委員さんもここへ皆さんと書いたすさい納涼祭りというのも、これ、8月27日10時半からというて、間に合うというたら間に合うけど、出してくれとって、やっぱり時間的に重なるというのがよろしゅうねえんじゃねえかなと思う。どう言うてええんかな、そういうなのを今思うた。

それから、備前三大祭りという三大祭りじゃから、祭りじゃけえええじゃねえかということもあるんじゃけど、やっぱりいろいろの中で、裏のことを言うたら桜が丘の西連合会じゃとかとたなばたのゆうべとが重なつとんじゃけど、前やこうは赤磐市の花火と重なつたりしとることがあつたでしょう。じゃけえ、やっぱり行けれんというんがあつたんで、それを考慮しようというこつて皆さんが出されてきとんのに、執行部がこういうことを重複さすようなことを出してこられて。議会のことは議会事務局へ議長に出されとんかもしれんけど、議会は追従ぐらいな、追従というたら失礼な言い方じゃけど、ちょっとな、考えてくれ。軽視しとんかという

て今ちょっとそう思うたんですわ。今後は、これはもう決めたことを、決めたというか案じゃけど、決めたことを覆そうやこう言よんじゃねえんじゃ。ほかのこの、この間福木さんが、この間副委員長が言われたろう、福木さんが。言われたがな、あんたが。委員会もあって今度は社協のもあってというてからずっと、そういう公的な社協のこつても言われたんじゃけえ。これは公的じゃねえかもしれんけど、やっぱりやってもらわなんたら、行きてえと思うものでも行けれん場合があるし、そこのところをちょっと考えていただきてえと。今後、次のときには、もう出すときには委員長、これはもうぜひ僕の意見として。そりゃ、そんなことはねえ、執行部が勝手につくったことに文句がありゃ来るなというんじゃったら、そりゃ文句があるようにするよ。このごろ見ようてから、友實市政がどうも勝手にちゃっちゃっちゃっちゃついくという、空き家対策やら何やら知らんことをもうどんどんどんどんいかれよんで、僕は腹立たしゅう思うとんですよ。別に足を引っ張っちゃろうかという意味じゃのうて。ちょっとそう思うとるんで、もし答弁できりゃしてもろうてください。あえてしたんじゃったら、あえてしたで結構です。

○委員長（下山哲司君） はい。先ほどの視察の件に関しては24日の全協で報告をさせてもらうて、そういうことがあったので……。

○委員（北川勝義君） 全協じゃろ、全協でええんじゃろう。

議長、全協でええんじゃろう。

○議長（金谷文則君） 全協で。ここでお礼かたがた報告しますから。

○委員（北川勝義君） お礼はええんじゃけど、議運で何かしたというて。

○議長（金谷文則君） 委員長、ちょっと一言。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 先ほど私のほうから今回の視察の件でお話しさせていただいたことなんですが、いろんなことがありましたので、皆さんにさせていただきなきゃいかんということもありますので、十分全協の中でも話をさせていただいて、それからいいものはやっぱり検討していかなくちゃいけないということになろうかと思っておりますので、そこでいい意見を出していただいて前向きなほうへ進めていただきたいというふうに考えていますので、どうぞよろしく願いをいたします。

○委員（北川勝義君） 下山さん、下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） いいです、今言いたかった、議長の言葉尻をとるんじゃねえんじゃけど、どっかの議運とかどっかでやってくれというて言うたから、そこでやったら今度またなるけん、今言うた全協で大変ええんで、そうやってください。たまたま言葉尻があれだったんで、ちょっと済いません、それで結構です。

○委員長（下山哲司君） 報告をちょっと私がさせていただいて、それで議長に振って……。

○委員（北川勝義君） 報告というて。

○委員長（下山哲司君） 議運。

○委員（北川勝義君） あ、議運で行ったから。

○委員長（下山哲司君） 議運で行ったから議運でちょっと報告させてもろうて、そういうことがあったんで、議長のほうに申し入れをとるという形にさせていただきますので。

○議長（金谷文則君） はい、委員長、そのようにお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○委員（北川勝義君） 議会基本条例も両方についていっとう。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） あと同じじゃけど、どうです。

○議長（金谷文則君） 議運でええ。

○委員（北川勝義君） 議運だけで。

○委員長（下山哲司君） それから、先ほどの行事の重なる分については、今ありましたんで。

総務部長。

○総務部長（前田正之君） 先ほどの御意見、心して今後は調整をしていきたいと思えます。決して地域のいろんな行事のほうを軽視しているというようなことはありませんが、どうしても時期時期、夏は夏の行事、秋は秋の行事ということで全般的に重なる傾向が出ております。御意見のほうは十分よくわかります。今後、気をつけたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

○委員（北川勝義君） ちょっと。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山議員、委員長な、今そう言われたけど、いつものことなんじゃ。前もあって、続けて。じゃから、やっぱり今後気をつけてもらわにゃおえん。今度あったらペナルティーもかけるぐれえせなおえんのじゃ。悪口を言よんじゃねえ。

せえから、あんたら、市長も議員もみんな選挙のときには吉井町へ来て頼みますというて言うたんじゃねえんか、周匝の周りで。選挙のときには言うてから。なあ佐々木さん、選挙の前でもしょうたがな。やったるよ、ずうっとやってやるがな。せえで、今度三大イベントの中の1つとか、吉井町周匝地区挙げて全体のかけてやるようなことに軽視しとるといのはおかしかろうがなということなんじゃ。そりゃ、今前田部長が言われたからそれでええんかもしれんけど、そういう意味じゃのうて、変ええとか言よんじゃねえんじゃ、もう一旦。これを見たら、これをざっと見てから、ほんな見たらああそうかというて、時期時期といや、ひまわり園やこうこの時期にせんでももっと早うできとんじゃねえか。執行部の不手際があるから入札が

不調に終わってこういうことが長う長うなったんじゃないか。もっと早くオープンできとんじやねえか。この日に合わすことはねえじゃねえかと。26日に何で合わすんなら、勝手にと書いてえわけじゃ。それを今そう思うたんですよ。

○委員長（下山哲司君） ほかになければ、続いてよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、協議事項2番目、平成29年9月定例会の会期日程（案）について。

議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料の29年赤磐市議会スケジュール表8月、9月（案）をごらんいただきたいと思います。

前回お示した内容と変わっておりません。8月31日開会の9月27日最終日という予定で組ませていただいております。

御説明は以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

先般お示してから変わってないということで、何か御意見ありますか。なければ、よろしいですか。

それでは……。

○委員（北川勝義君） 一般質問のだけはどねえなかったん。一般質問の予備日か何かしとんじやろ。

○委員長（下山哲司君） はい、予備日を6、7ととってあります。

○委員（北川勝義君） 6、7じゃろ。上がずれてもということは関係ねえわな。一般質問の意味。

○委員長（下山哲司君） そうです。一般質問の予備日が6、7です。

○委員（北川勝義君） 4日間もとりゃ四六、二十四人もおりゃあすまあがな。18人しかおらんのに。

○委員長（下山哲司君） 前にもその話があったんですが。

○委員（北川勝義君） 予備日をとつとることはええんじゃけど、ただよそのをこの間視察を見て、ようけもうほとんどぐれえしとつたろう。だらあと皆しとつたけえ、せえを今ちよつとるてな。4日じゃね。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） これは上がずれ込むということもあってもええというこつちやな、ちよつとらな。

○委員長（下山哲司君） 可能性が。

○委員（北川勝義君） おえんのんか。4日はもう一般質問じゃけえ、決まっとるということ

か。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） ほな、2日、3日の休会、ずれこんで2日、3日の休会でしてということじゃな。

○委員長（下山哲司君） 一般質問の日には変わりません。

○委員（北川勝義君） 変わらんということじゃな。はい、わかりました。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

なければ次に進んでよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、協議事項3番目、その他について。

議会報告会について。

議会基本条例特別委員会の治徳副委員長から説明をお願いいたします。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 議会報告会について議会基本条例委員会での協議内容について御報告をさせていただきます。

過去3回の報告会のアンケート結果を見ますと、議会からの報告を聞くだけではなくて自分たちの意見を議員に聞いてほしいという要望が多くありました。そのことは皆様御承知のとおりだと思います。それを踏まえて、従来の報告することを中心にした形式から市民の意見を聞くことに重点を置いたものに変更し、新たに少人数グループに分けての意見交換会を行うことをただいま検討しております。

また、これまでの報告会では報告会終了後に議長から市長宛てに実施報告書を送付しておりましたが、今後はいただいた市民の声をより議会活動に反映できるような活用方法についても検討しております。先ほどから出てきましたけども、先日の西脇市、丹波市での先進事例を参考にさせていただきながら実施方法等については検討してまいります。

次に、開催時期についてでございますが、昨年度実施できておらず、議会基本条例にも年1回以上行くとありますので、今年中には実施すべきではないかということで、11月を開催時期にしてはどうかという案で検討しております。議会報告会実施要綱で開催時期については議会運営委員会で決定をしていただくことになっておりますので、ここで開催時期について御協議をしていただきたいと思います。

また、班編成についても議会運営委員会で決定をいただくということになっております。次回の議運で御協議をいただきますようお願い申し上げます。

また、報告会の内容等の変更に伴い、実施要綱の一部改正が必要になる部分もあります。そのため、特別委員会で改正案を作成しますので、次回の議会運営委員会で御協議いただきます。

ようお願いを申し上げます。

それでは、開催時期につきまして御協議をよろしくお願ひいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

先ほど副委員長のほうから説明がございました。議会報告会の開催につきましては、赤磐市議会報告会実施要綱第2条第3項により議運で決定することになっております。11月の開催ということで特別委員会の中では協議をしました。この議運で決定していただかなければ先に…

○委員（北川勝義君） いつしたん、特別委員会をいつしたん。

○委員長（下山哲司君） おとついじゃろ。

○委員（北川勝義君） ちょっと、質問ええかな。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） この間、これな、ちょっと治徳さん、あんたに文句を言わにやいけん。議運の委員長にも言わにやいけん。簡単にな、視察してきたからな、視察を25日にして、きのうしたか、おとつしたかして、それはええんじゃ。きのうでもええんじゃ、会議をな。議運が終わった後にしてもええんじゃ、そりゃ。ええんじゃけど、簡単によそを見てきたから、ええとこを見てきたからほんなしましようというそんな簡単に決められな。

せえから、11月、時期も。去年は選挙があつてできなんだということ、皆さんが一致で、それから早い便にせにやおえんというて。本来じゃつたらもっと早い便に、5月、6月にもしちゃつてもええぐれえに思わにやおえんのじゃ。それをせずにおつて、今度は身勝手に、あんたらがちょっと研修してきたらすぐ。基本条例に任せとるといふもの、11月にしましようかというて簡単にばんばんばん決める話に、もうちょっと次のときに一遍本当に正式に集まつて、正式、ばかにしょんじゃねえんよ、委員会のとき口を挟むんじゃねえ。会議をしてもろうて、どうしてこういうやり方がええ、それからこの間の反省を求めてどういふふうにしたら、やり方もこういうやり方も、今簡単にああいうグループ制の意見を聞くことがええというて簡単に。そりゃあんたが一人言ようだけで、中で言うただけかもしれんがな、これ、責めよんじゃのうて。これは何ぼ議運で来て、全協で諮っちゃらにや。そういうやり方は悪いとかええもんもあるわけじゃ。これはそこが主体でやるんじゃつたらやりやええ。班分けもどうこうも文句は言わん、班分けもな。班分けもやり方も言わんけど、ただこういう大きゅう変わらんのんで同じことでやるんじゃつたら、もうこれは11月で決めたでこうやらせてもらいます、そりゃ結構じゃ。僕はそう思うとんです。これはやり方が大幅に変わるんで、議運の視察をした人がこう言うてきたと、議会基本条例の人が話をしてなつたというて。

あれも視察は見て聞いてきただけじゃから。メリットもありデメリットもあり、聞いてきただけ。その中に今度あつてやるんじゃけ、今度はやり方もそういうこともどういふふうに市民の方に広報するとか、こうやってやり方がいろいろあるが。もう一遍ちょっと慎重にやってほ

しいんよ。時期も11月にしますじゃとか何じゃというて。何で11月なん、例えばというたら。根拠があるんか。根拠はありやすまあが。思いつきでこのくれえがええじゃねえんか言うたんじゃねえんか。けちをつけよんじゃねえぞ。やっぱり慎重にやってほしいんじゃ。

ええ悪いとかけちをつけちゃろうという話、とりようでけちをつけようようになるけど、やっぱり視察に行ってきたのは25日じゃから。僕らも視察のことで電話がこうこうあったよ。何かこういうこともあって、そりゃタブレットのことじゃけえ関係ねえんよ。議会報告会やこのそんなことは全然話にならんもんじゃけど、もうちょい練ってやってもろうたほうがええんじゃねえかという。

やり方が同じことをやるんじゃったら11月で、もうお任せしとんじゃけえ、僕はええと思うんじゃ。班編成も自由にやってもらやあええと思う、そういうことは。何回やるかというのもやってもらやあええんで、そこらはもうお任せするんじゃけど、ただ内容が変わるから、やり方の、慎重にもうちょいやってもらわにや。議運で日程を決めてくれというて簡単に。議員もほかの人も納得せんよ、そんなこと言ようたら。僕はそれじゃったら反対ですわ、そんなことは。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 済いません、ただいまの報告で、申しわけない、誤解を招いたのかもしれないけれども、前の段階から何度か基本条例特別委員会を開催させていただきまして、多角面にわたりまして検討させていただいております。時期もいろいろ検討もあるんですけども、11月が一番適切ではないかと、こういうことで今回の議運のほうに諮らせていただきました。決して先般の先進例だけを取り上げて云々というわけではありません。慎重に検討しております。ただいま御報告の中でちょっと誤解を招いたんだと思いますけども、失礼いたしました。よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 11月が何がよって根拠にしたん。10月はおえなんだん、9月はおえなんだん。8月はおえなんだん、例えばの話で、8月は間に合わんにしても。いつまで検討したん。もっと早う言うてくれりゃええがな。きょう言うて今というような話になってから。やっぱりこれな、やり方を変えるということは、僕は今やりようの方法はええんじゃねえかなと思うとる。思うとるけど、勝手に一議員が視察に行っただけのこっちゃから。日程を決めるのは議運で決めりゃええ。でも、内容はこの間言うた、議長が今言われた24日のときに議運の委員長から報告して、こういうやり方もあったんじゃ、基本条例もこうなりよんじゃと、何ぼかちょっと言うてあげて、次からはんなしませよう、時期は議運のほうで決めさせてもらうんじゃけど、11月ごろが、議会基本条例の委員長が11月ごろに思よんじゃという、そういうことを言うてもらわなんだからいけまあ。これ、簡単に日程を決めえというて、内容が変わって、内容が全く一緒だったら僕はええと思う。それを言いたかったんで。それで、気に入らんで言うん

じゃったらやってくれりゃよろしい、あんたらが。

○委員長（下山哲司君） ちょっと補足させてください。済いません。治徳委員が今、私が重なつとるもんで副委員長のほうから報告をいただいたんですが、補足をちょっとさせていただきたいと思います。

委員会をたびたびやらせていただいております。最終決定にはこの議運で日程的に決めていただいて、それから全協で皆さんに御理解いただかにはやできんことというのはもうよくわかっておりますので、そういう方向で案づくりをさせてもらうということで今頑張っておりますので、その辺は御理解いただきたいと思います。よろしゅうお願いします。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっといい。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山さん、頑張つとるとか頑張つてねえやこう言ようらん。任せとんじゃけえやつてもらやあええんじゃ。じゃけど、これが内容が一緒じゃったら、僕は飛んできたけえ、もうこれはよろしいがなでええと思うんじゃけど、内容が違うんで、やっぱり言うてあげなんたら、やり方もあるしということと言いたかったわけ。市民の人はそのほうがええと思うと思うんじゃけど、逆に市民としたら報告会を聞いてやりてえという人もおるかな、へ講釈じゃけど、一人ぐれえおるかもしれん、1%、2%な、わからんから。それはもう広報で今度のときにこういうやり方をしますよ、集まってくださいというてやりやあ僕はええと思うて、かえって進んでいきようる、努力してくださったのはようわかりよんじゃけど、やり方が違うたらちょっと、悪いんじゃのうて。これは結果的には前のことがあるというて言ようるけど、これ、見て聞いてきたらその話から進んでいきようるような話になるんで、皆そりゃやってくれとんのはわからんことはねえけど、そりゃちょっと順番が前と、下山さん、議運のメンバーの中へ入つてねえんが議会基本条例に2人入つてねえけえ2人連れていけえ、一緒に行くけんえかろうというて、そりゃ議運で行くんと一緒、また違おうという話をしたが。それと一緒になんじゃ。じゃけえ、やり方だけちょっと考えてくだせえよ。

○委員長（下山哲司君） 御指摘のとおりでこの21日に次の委員会をまた開きます。日にちをきょう御理解、決定いただければそれに合わせて今度案をつくりましますので、24日の議運には案をお示しできると思います。議運でオーケーいただければ、24日の全協で皆さんに御報告してそういう方法でやりますのでということで、24日にはまた班長さんの決定も案をつくりましますので、いただかなければならないと思いますので、そういう方向で御理解をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっと待って。それやったら僕は協力できん。参加せん、そんな。やり方が同じじゃたら今のやり方でええ。そりゃもう任すつて。何回も何回も会議をしてきたというて言われたんじゃろう、あんたら。何回もしたん、また何回もすりゃええじゃねえか。極端に24日にどうこうという。やっぱり24日のときに説明してなかつたら、や

り方が同じだったら僕はええと思う。やり方が違うから反論も出てくるのに。

僕はじゃ、これだけ言うとか。今言いてえのは、一部の同じもん、ばんばんばんばんそう進んじゃいけない、そりゃ。やっぱりやらなんだから。やり方がええとか、前回視察してきたのは悪い言ようらん。でえれえええと思うと。それにはメリットもありデメリットもある。いろいろあるけん、その中でもうちちょっと話をして、議会の中の議員の中にもそれはえかろうというて聞いてほしいなということを書いたかった。もうそれはええんじやと、ええこっちゃけん日程を決めにゃおえんけえ、その中のスケジュールをせないけん、それまで言われたら決まったことにしてしまうことになるんじやねえかという。ほんな、もし全協のときにそういうやり方をやめましようというんも出たり、反対じやというたらどうなるんならということを書いたかったん。

○委員長（下山哲司君） そうならないようにしっかり検討させてもろうてお示ししたいと思います。

○委員（北川勝義君） 違うって、そりゃあ。違う、そりゃあ。

○議長（金谷文則君） ちょっと、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 多分日にちを決めるというのはもうここで決めにゃいけないのですから、議会基本条例の中で11月にやりたいということが決まったという御報告なんでしょう。

○委員長（下山哲司君） そう、そうそうそう。

○議長（金谷文則君） ほいで、やり方について、中の内容というのは当然今北川委員が言われようように24日の全協のときに皆さんに諮られてこういうやり方をするというのが決まったら、またそれについて皆さんたちが11月にみんなができるようにきちっとしてもらおうということなんじゃないんですかね。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○議長（金谷文則君） ちょっと確認をお願いします。

○委員長（下山哲司君） そういうことで頑張りたいと思いますので、御理解をいただきたいと思います。

○委員（北川勝義君） ちょっとよろしいかな。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） 議会基本条例の中というたら、議会報告会のことについては特にもう都合のええことをぱっぱっぱっぱ決めて、ちゃっちゃっちゃっちゃ独断で走りよんと一緒じゃ。視察に行くのも。視察についてもじゃ。してもええなというたらぱっぱっぱっ行きようる。そりゃええんじや。反対しょうりゃへん。ええことをするのはええけど、ただ議員も皆めいめい18人おるんじやから、皆さんがやり方を変える、これはもう僕はくでえけど、やり方を変えるええんじやから、11月にというて11月のことにやりてえというのは、そりゃやるの

は決めて、そりゃ議運で決める。そのときに今言うた違うわ、やり方を変えるということと、せえを今度納得してもらおうじゃ、それをいうて言うから、いけん言よんじゃ、初めから。

今議長が言ったように月を11月ごろにやりてえというのを決めて皆さんに諮りてえんじゃと。せえをおおむね議運の中ではこういうやり方をやりてえんじゃけど、議会報告会もやりてえ言よんじゃけど、そこんところは24日のときに決めさせてもらわな言わにや。簡単にあんたら、この方向を御理解願う、御理解願う言うのと、自民党のむちゃばあ言うのと同じじゃが。稲田と、やめたりするような、ちょろちょろしょうる。ちゃんちゃらおかしいわ。ふざけたことを言いんさんな。

○委員長（下山哲司君） 御理解いただかにゃいけんのは、きょうは日程だけのことなんで。

○委員（北川勝義君） 違うわ、そりゃあ。

○委員長（下山哲司君） 内容についてはまた次回ですから。

○委員（北川勝義君） ちょい待って、ちょっとよう聞かれえ。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山さん、頭悪いよ、あんた、これもう。今言うたことは、治徳さんは副委員長ということ、あんたが委員長でわしが議長という、かわって言うてもろうたんじゃというて。内容もやらにゃおえんから小グループに分けてやるんじゃというて、こう言うて、せえでそれを11月にやるんじゃと。その後に僕が言うた、日程もつけて内容もせにゃおえんけえ、それを御理解願わにゃおえんのんじゃ、内容もというて。じゃけ、それは違うというて。最後、金谷議長が言われたんが日程は議運で決めるのは、これはもうわかっるとる。百も承知じゃから。それじゃから11月でええんじゃけど、11月ごろでやってもらやあええ。それを諮って、24日に、ええんじゃけど、そのときに内容はこういう内容じゃというのをやってもら。ここで、さっきは内容までこういうことをやらせてもらうのに理解願わにゃいけんという話をしようたから、そりゃ違うということじゃ。

内容は今議長が言うたように皆さんがそりゃもう、おおむね僕が思うのは100%じゃと思うで。おおむね皆さん、ええ言うと思うんじゃ。思うんじゃけど、ちょっとわからんが。せえなことは要らん言うたりなるんで。それ、行かんでもええんじゃったら、行かんでもええようにすりゃええんで。そういうわけにいくまあ。みんなで決めた、議会の中で決めとるこっちゃから。それだけ、今議長の言うたようにやらしちゃってください。そうせにゃ……。

○委員長（下山哲司君） そうですよ。議長の言われるとおりにするんですよ。

○委員（北川勝義君） 違うがな。ここ、最初と全然違う。

○委員長（下山哲司君） 案をつくっておくというだけのことですから、24日にはな。きょうはもう日程、11月の、細部までは、日にちまでは決まりませんが、月だけ11月をここで御決定いただいたら次に進められるということで御理解を……。

○委員（北川勝義君） そんなことはねえ。あんたら、そんなことを決めてのうても進みよう

るが。何を言ようるん。

○委員長（下山哲司君） まだちょっと、考えとるのは初旬のころのほうが11月があいとんじやないかなというふうには理解しとんですが。

○委員（北川勝義君） 初旬のほうが話もうがな、農業もしょうるもんも。桜が丘、ネオポリスだけじゃったら、やりようらんがおらんけど、吉井や山陽の下や、赤坂、熊山、百姓をしょうるもんがようけおるが。農業をしょうるもんは来んでもええんか。

○委員長（下山哲司君） いやいや、そういう意味じゃないけど。

○委員（北川勝義君） 初めやったらそうじゃがな。

○委員長（下山哲司君） 終わりは議会が12月定例にまたひっかかってくるんで。

○委員（北川勝義君） そんなことはわかってあんたらが決めとんじやろうがな。11月にしてえて決めたんじやろうが。じゃけえ、農業のことは考えてねえんかというて言った。11月。

○委員長（下山哲司君） 半ばごろちょっと前ぐらいが一番行事が少ないんじゃないかなと思う。

11月という月で決めていただいとけば、また内容については……。

○委員（北川勝義君） じゃけえ、それはもう。じゃけえ、僕ばあしゃべって。11月でな、委員長、よろしい言うたが、11月に決めるのは。内容だけはあそこでしてくれというて言うた。それを下山さんが11月の上旬じゃ言うたりするから、せえで暇なとき言うけえ、そねえな。11月中じゃたらいつでも、そりやもう皆さんで決めりゃええんじゃから、それについては僕らがどうこう。

治徳さんな、副委員長であんたに11月7日にしてくれえと、年金受給者友の会総会があるけえちようどええわ、皆来んけえというて。というようなことを言うたらいけんけど、逆に言うたらそれはもう任す言ようるわけじゃ。じゃけ、さっきもしよっぱな言うたように重複せんようにしてくれというてなるべくお願いしよんじゃから、そこを考えてやってくれりゃ。

ほんな、こん中絶対11月にはワインフェストをするで。大抵12日ぐらいにするんじゃねえんか、ワインフェストは。ほんな、そのときはようわからんけど、わしの勘で言うんで。12日にほんなしちゃりますというて、来りゃへんで、誰も。重複するような。そのとこを考えてほしいということを言いたかったんでな。今、下山さんが上旬じゃ言うたのはちょっと訂正して11月中というふうに決めるのは、それはもう。そこで決まったことに議会報告会の会議で決まったときに日にちはいけんやこう言やあへん。そりやもう決まったらそれに従わにゃおえんけん。それはもうそうしてほしいと思うんじゃ。

○委員長（下山哲司君） それでは、11月中ということで御理解をいただいたということよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） はい、それではそういうことに議運の中で決定いただいたということ

とでよろしく願いいたします。

その他について、次に。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 済いません、もう1点、議会基本条例特別委員会のほうから御報告をしておきます。

実は政務活動費の取扱基準のことでございますけれども、平成30年4月1日改正を目指してただいま委員会のほうで検討をしております。次回の8月24日の議運のときに……。

○議長（金谷文則君） 施行令の改正。

○委員（治徳義明君） 施行、施行、改正。

○議長（金谷文則君） ちょっとはっきり言うて。いやいや、それははっきりして。言うてくれりゃええ。それ、問題がありや問題で聞くのは聞くわけじゃから。

○委員（治徳義明君） 要は、平成30年4月1日から基準を変えて、ただいまの基準を少し見直しの検討をさせていただいております。それで、今回は次回の8月24日の議運のときにそういったことの検討の中間報告をさせていただきたいと、この旨を御報告させていただきませう。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山委員長な、こんだけ嚴重にあんたら言よんじやったら、違反のポスターじゃとか提示じゃとか、開催日せんとか、名刺をつくるとか、政務調査費でつくって、何やかんや違反のことをしとるけど、議長も絶えず出て議会改革をやりてえ言うならやってく下さいよ。何も進んどりゃへんが。今、澤さんのことを悪口を言よんで、澤さんだけに限らずや。名刺やこうつくったらおえんのはわかり切っとることや。名刺をつくっとったら、そげえなもん、金を払うて済むんじやったら泥棒してから払うて済むんと同じじゃねえか。そういうもんじゃ。議会改革をするというのはそういう意味じゃろう、全部やるのは。やってねえのに。やらなんだらいけんのにじゃねえんか。そげえなことを言う。それをもとでやってくれえ。それこそどういうペナルティーもかけるぐらいやってくれにゃあ。かけられる権利はねえけど、実質的に。そういうことを考えていかにゃおえんが。個人的に悪口を言よんじやねえんで、それを言よんのが。何でもええんじやったら、誰でも何でも好きなことをすらあやあ。政務調査にかかわる、かかわらんは別で、議会改革も含めてじゃからな。それを言ってもらいてえと思うんで。そんなことをそう簡単にぽんぽん誰かが意見を言うて、どっかでちゃっちゃって、へえへえ、それでよろしいじゃろうと、そう簡単にまとまるまあがな。ほかの市町村も聞いちゃってくれえ、ほかの市町村も。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） ただいま北川委員の御意見がありましたけども、次回に中間報告とし

て協議内容の検討を報告させていただきたいと思います。協議した内容の中間的な報告をさせていただきたいと、このように思っていますので、よろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） もうこれでやめるけん。けちをつけるんじゃねえけどな、治徳さん、下山さん、中間報告とかという、それじゃったらさっきの議会報告会をするときの中間報告をやられえ。それをやらずにおって、それも毎年飛ばずにきとんじゃ、飛んどんじゃけん。1年飛んどるが。飛んできて、そういうなときに中間報告をしてくれえ。そういうなことは中間報告をせず、こっちだけ中間報告をするというたら、中間報告が悪いとか言ようらんけど、そりゃ。中間報告というより、僕は経過といや報告か、流れぐれえなことで、中間報告というたら大々的、中間報告というたら何かぼっけえことをしたように。いやいや、じゃけ4月じゃろ。4、5、6か。7月、4カ月になるんか。3カ月か。3カ月じゃな。4月17日からじゃけん。

○委員長（下山哲司君） 中間報告というのは、今あるのじゃなしに改正する案をこういうふうに……。

○委員（北川勝義君） わかっとる。経過じゃというて経過のことを……。

○委員長（下山哲司君） その経過を報告ということで。

○委員（北川勝義君） 違う。中間報告というたら何かぼっけえ物々しい感じがするな思った。

○委員長（下山哲司君） というのが議会内だけでじゃなしに、議場で報告をして一般の方にもやりようという示しをしようという……。

○委員（北川勝義君） 格好だけか。

○委員長（下山哲司君） いや、格好だけじゃない。やりようというのを理解していただくという。

○委員（北川勝義君） 本会議でやりゃあへんじゃろう。9月議会でやりゃあへんじゃろう。

○委員長（下山哲司君） いや、あのう……。

○委員（北川勝義君） 中間報告やこうすりゃあへんじゃろう。

○委員長（下山哲司君） いや、中間報告をさせていただきたいと思うんです。

○委員（北川勝義君） 何を言よんな。

○議会事務局長（奥田吉男君） 議運、全協の話ですから。

○委員（北川勝義君） ああ、ああ、おえんよ、そりゃ本会議やこうでやったら。

○委員長（下山哲司君） それでオーケーなればまた別じゃけどな。

○委員（北川勝義君） あほうなこと、ほんなもん、本会議でするもんかよ。笑われらあ。

○委員長（下山哲司君） とりあえずはそういうことで。

○委員（北川勝義君） 全協やこうで報告するということなんやな。

○委員長（下山哲司君） とりあえずはそういうことです。そういうことで御理解をいただきたいと思います。

ほかに。

局長、研修会の。

○議会事務局長（奥田吉男君） 議員研修会のは日程のところで申し上げました。

○委員長（下山哲司君） 日程で。もうええんじゃな、内容的には。

○委員（北川勝義君） 下山さん、質問ええか。その他でええか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 今、僕は冗談で言よんじゃねえんじゃけど、ここの8月1日に、これはそっちに言やあええんかもしれん、そういうの。山陽団地等活性化対策有識者会議があるんで、これについて、これはもう3回目になるんじやろう。3回目じやろう。3回目になろう。1回目のときに僕にどうのこうのというて、僕は山陽団地の人が出てもろうたほうがえかろうと思うてここで諮ったわな、もう皆。山陽のもんに出ていただきてえというて話をした。せえやって総務文教委員長が出るんじやのうてってやったら、今度は次々次々出るときみんなやっぱりこれは本当に非常に重要なこって、これについて僕は人数もふやしちやってくれんかというて言うたら、ふやさんほうがえかろうというて、議員は入らんほうがええんじゃねえかという話もあったりして、ほんなら取り下げらあという話をしたと思う、前回に。

せえで、できたら、これは本当大事な、特別委員会でもつくらにやおえんぐれえのことなんじゃ。これは本当のことを言うたら赤磐市全体に。その中で、今言うたら悪いけど、路線の道もつくろうとか、大々的なことをずっとやりようるから本当はやらにやおえんことになる。そこまでせえたあ言うんじやねえけど、できたら今言うた議会基本条例、議会報告会の説明会、中間報告、そげえなこらっしもねえ、目くそ鼻くそのことをするよりは、2回しとんじやから3回目が終わったら、8月1日に終わるんじやけん、24日のときにや、これは大事なこと、コンポストもやりようた。僕も言うたことがある。北衛もな。大事なことは報告せにやおえんのんじや、組合議会であったことは。これは組合議会じゃねえけど、本当に非常に大事な、関心を持って傍聴に来てもろうて、僕らは行けれんけん、しょうるが。その辺のことをやっぱり3回目ぐらい終わったら担当委員が報告してくれてもええんじや、ほんまの話が。そのほうが大事なんじゃ。

と思いました。ぜひその報告をしてください。もし8月がおえなんたら9月でもええけど、できたら早えときに報告してもらいてえと思うとん。

○委員長（下山哲司君） 治徳議員、議員としての答弁をちょっとひとつ。委員として。今の北川委員が言われた。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 有識者会議の。

○委員長（下山哲司君）　そうです。

○委員（治徳義明君）　ありがとうございます。大変に赤磐市にとりましてもこの問題は大きな問題でありますし、もし議運のほうで御報告できるのであればさせていただければありがたいと思いますけども。個人的にはそう思います。議会のルールがありますので。

○委員（北川勝義君）　違う、全員協議会、下山さん。

○委員長（下山哲司君）　ちょっと待ってください。

今、北川委員から言われたのは、議員さんの皆さんに報告ができたということですから、全協の席でもしのできるのでしたら治徳議員が委員として報告できる内容をしていただけたらという話です。

○委員（治徳義明君）　ありがとうございます。共有というのは非常に重要なことでもありますので、そしたら全協のほうでさせていただきます。内容につきましてはまた。

○委員（北川勝義君）　これこそ経過報告をしてもらやあええんじゃな。

○委員長（下山哲司君）　そうそうそう。報告というのは経過報告じゃな。

○委員（治徳義明君）　はい。全協でということですよ。

○委員長（下山哲司君）　全協で言うてください。

○委員（治徳義明君）　はい、ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君）　そういうことで議長、よろしいですか。

○議長（金谷文則君）　はい。

○委員長（下山哲司君）　それでは、議長、取り計らいのほうよろしくお願いいたします。

他にございませんか。

委員のほうからはないですか。

執行部のほうからはその他ありませんか。

○委員（北川勝義君）　下山さん、ちょっと。

○委員長（下山哲司君）　北川委員。

○委員（北川勝義君）　きょう言うてもらえると思うて。原田議員ぐれえが言うてくれるか、佐々木議員が言うてくれるか、言わんけん。僕のとこへタブレットのことはちょっと視察へ反対じゃとかというのがあって、どういう意味で言うたんかわからん。内容も3分ほどの会話じゃったんじゃが。僕は個人的なことを言うて、どっちでもええ、僕は。じゃけど、皆さんがしてえとか、先進地を見てやりようたらできるということになりや、やりやええんじゃねえかなと思うたり。僕は個人的に使ようるもんがある、別にええんじゃけど、やっぱり議会としてするんじゃったらせにやおえんし、もしやるんでこういう、副委員長が報告すると言うて言ようたけど、そういうような中間報告じゃねえけど、例えばというたらこれが24日に報告できて、したらそのときに会議をする議会基本条例とか議運の中に、議運で報告してもどうこういうんじゃねえんじゃけど、考えとってもらいてえというんが、結果的に9月にやって、今度やりよ

うたら10月、12月いうて言ようたら来年に予算がついたというようなこと、1年たったようなことになると思うんじゃ、これをやりようたら。

じゃから、できたら話の中で議会基本条例のほうも、せえから議運のほうもですわね。議運も見た。議運より、議運は視察に行ったというこっちゃけど、向こうが比重があるが。あるというたら言い方が悪いけど。そこんところでもうできたら9月にやれえというたら、9月に予算をつけえというたら、それは難しいかもしれんと思う。つくかもしれんけど。例えば10月に選挙するというわけにいかんけど、例えばというたら遅うても12月とかぐれえにはつけてもろうても、最悪の場合のパターン。できたら9月にしてもらいてえんで。9月で10月から使えるようになったらすげえこっちゃと思うんじゃ。じゃから、そこんところが余り早過ぎるかもしれんけどな、例えばというたら。せめて12月ぐれえにせなんだら、3月にしようたら来年になっしまうから、ちょっとでも早うそういうことはしてもらいてえなと思う。

せえで、たかだか見たら200万円を150万円ぐれえで複写機の通信、運搬、いろいろなことを言ようたらほとんど50万円でペイぐれえになるんじゃねえかというて、ええんじゃねえか言われるのも丹波で聞いたから、そう思うたらやるべきじゃねえかなと思うんで。反対しとる人もおるけど、そりゃ説得せられりゃええんじゃねえかと思います。

その中に細けえことの、向こうみてえに1,000円はもらいましょうというて言ようた、それも大事なこと、そういう細けえことまでするからどうこういうんと、ペーパーレスだけじゃないこともあろうから、そういうこともちょっと大きい意味で踏まえて24日に報告を議運の委員長がするんじやったら、委員長のほうからでも議長の許しを得てしてもろうたほうがいきやすうなるというんか。市は予算をつけるのが大儀なというんかもしれんけど、要らんとこへ予算をつけるんより。つけりゃええが。それが1点。

それから、議長が言われた、いみじくも言われたことが大事なことで、僕も一般質問をしとんじやけど、再々しょんじやけど、建てかえか耐震か、耐震補強か、そしたら耐震補強したら部屋が少なくなる、いろいろなことがある。それでよそも特別委員会をつくったりせんだりしてやっとなで、これはやってみにゃわからん。どういうことになるかもわからんけど、重要なことがあるんで、ちょっとそこんところを踏まえて議長とか議運の委員長も相談してもろうたりして、副議長も、副議長、聞きょうて。副議長も相談してもろうて、議長、副議長が相談してもろうて、そういう耐震ありきとか建てかえありきじやのうて、どうやるという調査じやからその中でどうするというのを一遍してもろうて、それから会議がどうしても必要だったら建設でもええ、別に。耐震調査特別委員会でもしてもええ。そういうことも大事なと思うんで、一遍そういうことを、特別委員会をぼっけえつくれつくれということを調子に乗って言よんじやねえんじやけど、これはええ例が備前市が言よったらやっぱり下げても10億円からまた上がってきて15億円上がって、下げて十何億円差があるということでちょっと困りようるというんがあるから、ちょっとそこらのことが1つと。

それから、大変言いにくいことを言うんじやが、何か委員会が知らずに、担当委員長が知らず、執行部のほうです。知らずに何でも勝手に決めてやる。今回、何か聞いた。入札も、別にそれはええんじや。僕は先に言うてもろうたほうがええということと言よんで、産業建設の中で空家対策ができたということがありましたな。委員会の中で。僕らは知らんのんじや、はっきり言うて。そういうな委員会ができたというのは何も知らんわけ、一切。僕はこのことは余り好きじゃねえけど、原田さんとよう共有しとるのが委員会で決まったこと、大事なことはトレーへ入れちやるか、ほかのときに配っちゃってくれえというて絶えず言ようるわけ。議会の本会議でも絶えずくださいとか配っちゃってくださいというのを。要らん人は別で言よんで、そのことが大事なことで、別に隠すことはねえ。わかるんじやけえ、1年か2年わからんのじやったらええけど、すぐわかるんじやから、できたら担当委員会だけ、そういう大事なのはそういうことをするなら、配ってほしいというんが1つと。

それから、今回は入札でも今度は1,000万円か何ぼか以上は一般公募でやるんじや。一般公募で何でもそりゃよろしい、やるといや。そりゃ担当委員会とか議長、副議長とか、こういうようになるんですよというて教えていただきてえ。今、指名委員長というのが、聞きゃあ直原平君が一番指名委員長になつとるわけ、副市長がおらんけん。せえでも、結果的に、一般質問してというんじやするよ。何ぼ言うてわし、一般質問で市長をやり上げるで。じゃけど、ただそれはどれがええというてこれから出てくる耐震か、プールは出るか出んか、プールやこう1,000万円来んわ。せえか、ほんまそうねかろう。それを何かやるのに、やるのはもう市長が執行権じゃけえ、こうやりてえというのはええと思う。じゃけど、やるときにせめて議長にもお話しして、議長、こうさせてもらいてえとか、担当委員会にこうしていただきてえというの言うていただきてえというのが一つ僕はあって、そりゃいや教えんのんじやというんじやそれもよろしい。不信感が募るだけで。

せえからもう1つは、さっき言ったことの新しい事業をしたとこの委員会であつた、委員長がすりゃええんかもしれんのんじやけど、よそのほうへも各委員長ぐれえにはとか、全議員というたらおえんけど、知らしめてほしい。

せえから最後は、今最初に言うた特別委員会のもし庁舎についてのことのどう考えとるんか考え方がわかりやあちよつとそれも今後、きょうにどうこう言うんじやねえんよ、してもらいてえなと思う。

○委員長（下山哲司君）　ちょっと1つよろしいですか。

私は北川委員のその話をお聞きしとって、今度またちよつと皆さんに御相談せにゃいけんと思ようたんですが、ここでさせていただければと思うんですが、各委員長さんが重要事項というのが委員会にあるわけですから、その重要事項に関しては委員会は毎月やつとるわけですから、全協があるときに重要事項を全協の場で説明してやってくれという指令を出していただければ全議員さんに重要事項が伝わるんだと思うんです。紙を配れということで今までは資料を

提供、あれに入れるというような話でやっと思ったんです。最近それもおろそかになっとなりますし、議会全体の横のつながりが全く今ない議会のように思えるんです、最近。それを解消するにはどうするかということになれば、各委員長さんがそういう配慮をお願いしたいと。

○委員（北川勝義君） それは僕らはしょうで。

○委員長（下山哲司君） はい。配慮をこれからはきょうお願いしときますので、配慮をお願いしたいと思います。

佐々木委員。

○副議長（佐々木雄司君） 北川委員のほうから御指摘があった件、今委員長のほうからお話しいただいた各委員長のほうでみんなで共有するための努力の部分、本当大切なことだと思います。視察に行かせていただいて一番気づきましたのは、今言いましたように議会としてやるべきことを先進地2例に関しましても今まで頑張ろうとしてたんだけどもできなかったというところを改善するために議会改革特別委員会ですか、名称が何かそんな名称だったと思いますけども、そういったようなところの座を用意して、その中で今委員長がおっしゃったような情報共有はどうか、あるいは報告会などで市民からいただいたものをどういったぐあいに議会として政策に生かしていくとか、そういったようなことを決めていращるよう感じました。

うちの赤磐市にも同じケーススタディーが当てはまるように思いますので、私はもうそういったような北川委員がおっしゃってるような山陽団地の話も、議員みんなで考えていかなきゃいけない適地がどこ、適地が本当にいいのかとか、関連する項目は何であるのか、庁舎の建てかえをするのかしないのか、するのであればどこに適地として新しい庁舎が行くのかとか、そういったようなところを議会、我々は民意ですから、この民意の中でどういうぐあいで考えていくのか、それをどういうぐあいに市役所のほうに提案をしていくのかということも含めて、やっぱり委員会を設置していくためにも座となるような特別委員会みたいなものが必要じゃないかなというふうに私は思ってるんですよ。

これも私が視察に行かせていただいたの感想的なものでありますから、皆さんとこの感想が共有できてればいいんですけども、一緒に行かせていただいた者としまして一意見としてちょっと北川委員のほうからなるほどもっともだなというような内容がありましたので、ちょっと言わせていただきました。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） そのことはそれで今委員長が言うてそういうことにしたけど、副議長も言うてくれて、そういうことをつくらにゃおえんじゃねえかと思うて。それをつくりょうるのにまた2カ月とかかかりますが、2カ月加えて本会議で。それまでには、原田さんと本当わし、2人言ようらな、出しちゃってくれというのをな。書類をよそへ配っちゃってくれというのをな、必要な。それはやっぱり共有してもらわにゃおえんのんで、今の事務局の入れるだけ

でもトレーに入れてもろうたほうがええと思うんじゃ。せえで、これは議運で決めれんこつて全協で諮りゃええんじゃけえ、もしそういうことをやらにゃおえん大事なんがあるんじやったら全協のときに言うてくれというのも一つの、できるまでよ、委員会ができるまでの間の空白が2カ月とかあるのに、毎回委員会があるんじやからちょっとしてもろうたほうがええなと思うて。

何でこういうことを僕が言ようというたら、もうざっくばらんな話、言うてしまわあ。7月に産業建設委員会があったと思う。日にちは僕はちょっと覚えてねえ。あったときに議員さんが、金谷議員じゃけど、赤坂の下水はもうええんじゃねえかというて言われた。要らんとかというて。要らんというか、単純に聞いたら又聞きじゃけえ、要らんというて。僕は議事録を見て、議事録をまた精査するというに。要らんというて言われたとかという。やっぱりそりゃ要らん、遅えとか言うたりするんがある。遅えからじゃろうというような。

じゃけど、原田さんがいつももう要りません、合併がええとかというて言よんと同じで、いろいろ考え方があって、それは意見のこうこうでとか、補助金の流れ、いろいろなことがあってそれはいたし方がねえところもあるが、ただ言うたのは、なぜ言うたというて意図が伝わらなんだらおえん。それはもう遅えから早うしてくれにゃおえんとか、何でおくれとんなどいうて陳謝せえということもあって言ようこともあるんじやねえかと思うたり、そうじゃねえか、嫌がらせで言よんかも。嫌がらせじゃ言わんと思うけど、例えばの話がそういうことが。

公共下水が行ってねえところは企業誘致したりするとなかなか困ってくるということが、隣同士だとできるところへ行こうかということになるんで、そういう発展がおくれてくるということは経済、いろいろなことに不経済なことになるんで、損失になると思うんで、そういうことを言うたとかそういう話が出たというて大きい話が出て、決議されたんじやねえけど、そういうことがあったとか。

今回でも委員会だったら2.2ヘクの土地を買うというのは市の経営・生産対策推進会議の議会の中で、今議会で本会議では一応委員会の中で予算が2.2ヘクの測量設計が認められたというこっちゃったが。修正案が出て否決されたけど、前も出て、何回も修正案が出るというたら市長、否決と一緒にじゃからというて僕は7月21日の市経営・生産対策推進会議で言うたんですよ。よう考えて説明していただかにゃ困るでというて。だてや酔狂でやりよんじやねえんじやという話をしたわけ。そしたら、今度は市長のほうが何か皆さんが何かどうのこうの、0.8ヘク追加で買いますというて話になったんですよ。買おうと思う、その検討をしよう言うけん。そんな0.8ヘク、あれは1反が700万円も800万円も、700万円とって5,000万円、そんなことを簡単にやるというて。ここは、僕には怒られた委員さんがおられて、北川議員は議会のことをわかっ取るけえ、要らんことを言うな、議会のことはわしらはわからんのやというてぼっけえ怒られた。ヒガシモトさんという人に怒られたんじやけど、名前を削除してくだせえ。怒られたんじやけど、僕のが大半が合うとるというて皆さん、治徳さんもおられたけど。僕は

2.2ヘクの測量設計費、調査設計費しか起きてねえのに、あと0.8ヘクも買う、追加の買うのを
出したら、やったら事前施行になる。次第によっちゃこれは事前施行になってというのはだめ
なわけなん。これはもう皆誰がどう思うかしれん。そういう意見も出てとりますというんじ
ゃったらええけど、それが1点。

そのときにもうこれは早い話、農協が山陽基幹支店、赤磐の支店をつくるのも一つの目的じ
ゃって、農協じゃねえと、農協が独自でやる言ようたら農協じゃだめです、市町村が間に入っ
てくれて農業振興ということで農協が土地を何ぼか確保するのはよろしいという話じゃったん
ですわ。物流センターもしましよと、農協は。その件の話がそこを動いてやりよって、いろ
いろあった。ただ、今度は知らん間に農協はもう一切関係がまだわからんと市長は答えられた
んですよ、協議会長は。わからんけん、農協の組合長も。きのう農協の理事会があって理事
会でも指摘しております。

両輪じゃ言ようるけど、わけわからん。これは何のためにし出したんか。農協のほうは2階
建てまで建てにゃいけまあとこの話まで出とって、そのときに農協はそんな端のどこの0.8は
要らんと、農協も。2.2ヘクだけでも農協だけじゃったら1ヘクほどで1.2ヘクほどで、あと
0.8ヘクぐれえ余る言ようたんじゃ、農協、今の買うというところでも。せえでも、せっかくの
あんだけの一等地じゃから、二度と買えんから買うとくべきじゃねえかというこって、これは
農協も一致しとって、行政と進んで、行政が今リーダーシップをとってやってくれ出したんじ
ゃけど。

そのこのところ、そういう大事なことがなったら、これは本会議があつたんじゃけど、そうい
う詳しい話を知らんから、裏までは。いうたらもつこういう2.2ヘクを0.8ヘク買う話が出て
きて、この委員会で出たんかもしれん、出て、買うような話、買えというて。何ぼ福木さんが
手を振っても産業建設委員じゃねえのに。出てきて、7月21日のときに市長が説明せられたん
じゃ。僕は2.2ヘクしか測量設計がついてねえのに会議ではそういう気持ちじゃというて言わ
れたんかもしれん。そりゃ取り方は僕は知らんけどな。それを0.8ヘク追加というのはおかし
いんじゃねえかというて、こういうことは物すごう非常に大事なから。

さっき佐々木副議長が言うてくれた話じゃねえけど、それを議長、僕はやってほしい言う
た。そういう大事なことはな。下水でも言うたんが、金谷議長が、議員が、議長より議員じゃ
な。議員がやめりやええ言うたという。どういう意味で言うたんかわからんし、意図全体が僕
らは聞いてねえから。このことについては、0.8ヘクは僕は21日にじかに聞いたから。市長に
憤慨しとるから、今確認をしたが。そういうことがあるから、そういう重要なことは治徳議員
のほうから産業建設、重要なことじゃから配っちゃってくれえということがなかつたらいけん
のやねえん。

せえから、今言うたら悪いけど、2.2ヘクの、6月議会に2.2ヘクを受けたんじゃねえかな、
測量設計。じゃろう。それのに今度は0.8ヘクの測量調査してるで、そねえな簡単に言ようた

らおかしいんじゃない。そんな大事なことじゃったらこの間の委員会でそうなったんじゃないだろう。産建でなったんじゃないだろう。なったんじゃないたら産建の委員長が報告してくれたり置かせてくれたり困るということをお願いしたかった。

○委員長（下山哲司君） 議運でございますので、事業内容について審議というのはあれなんですけど……。

○委員（北川勝義君） 事業内容じゃねえ、議会運営絡みじゃねえか。

○委員長（下山哲司君） 今そういう絡みの、皆さんに伝達方法の意味で言われたんで、そういう観点で治徳委員、よろしゅうお願いします。

○委員（治徳義明君） そういった御意見が複数人から出まして、市長のほうも再度検討してみますというふうな御答弁にとどめられたと思います。

それで、もう1点、ちょっと済いません。さっきの有識者会議の件なんですけども、さっき言葉足らずでごめんなさい。と申しますが、項目に分けて有識者会議は今いろんな検討をしておりますので、8月24日にさせていただくということではなくて、中間報告ということなので9月か10月になる可能性がありますので、そのことを。

○委員（北川勝義君） 10月じゃったら意味ねえが。11月にしよんののに、何を言よんな。

○委員（治徳義明君） いやいや、有識者会議の全協での……。

○委員（北川勝義君） ああ、山陽の。

○委員（治徳義明君） そうそうそう。有識者会議の報告なんですけども、項目に分けて……。

○委員長（下山哲司君） 産建の事業内容でしょう。

○委員（治徳義明君） 有識者会議の。有識者会議の。

○委員長（下山哲司君） ああ、有識者会議。

○委員（治徳義明君） 先ほど、ごめんなさい、言葉足らずで8月24日にしますというて捉えられとったら困るので、項目に分けてやっておりますので、ちょっとそのタイミングは私のほうではからせてください。そのことを。

○委員（北川勝義君） 治徳さん、口を挟むようなけど、もう3回じゃけえ。これ、4回、5回になったらもう7回で終わったりするんじゃないけえ、終わるで。

○委員（治徳義明君） 済いません、今6項目か8項目に分けてやっておりますので、できれば中間報告ということなので、一通り済んでから報告のほうがいいかなと思ひまして。

○委員長（下山哲司君） 全協の席で皆さんが御理解しやすいような説明をしてあげてください。そういうことをお願いしておきます。

○委員（治徳義明君） よろしく願いいたします。

○委員（北川勝義君） 今の質問には、下山さん、僕の言うたことの質問……。

○委員長（下山哲司君） 北川委員の話の件を言わりよんか思うて、おかしいなと思うて聞き

ようたんですけど。

○委員（治徳義明君） 濟んません、それは今、先ほど申しましたように委員会のほうではそういった、と申しますが、体験圃場、実証圃場の話が十分出まして、そういった重要なのであれば最低限ではなくて3.3平米買うべきではないかという意見が複数の委員から出まして、それで市長のほうは買いますという返答ではなくて今後検討させていただきますという、産建の中ではそういうことで、それ以上の産建のほうではお話しはございません。

○委員長（下山哲司君） ここで事業内容……。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、違う、下山さん、違う。

ちょっと委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山さん、長年の議員じゃろう、よう勉強してくれえ。よう意思を聞いてくれ。

こんな失礼な話を、副委員長も、僕は大事なことになったことは議運で言うてもらわなんだら、じゃからさっきも議運でそういう委員会もつくって特別委員会をしてほしいということ言うた。これが1億円の事業を例えばするんじゃったら僕はごじゃごじゃ言やあへん。庁舎で何十億円の、下手したら50億円ぐれえになる、例えば土地も確保しようたらなる可能性、やめてもいろいろなことがある。じゃけえ、やっぱりよう検討してもらわにゃおえんからそうしてほしいということこの議運であえて言わせていただきょんと、その中で共有するのが同じ議員で共有してもらわなんだら、書類が行ったもん、なかったもん、後から聞いたもん、空家対策ができるんやったら山陽団地の活性化のとき僕は出とります。総務文教委員長じゃけえ、僕は出させてもらゆる、出とる。じゃけど、山陽団地ののがあって空家対策があってするんじゃったら空家対策をしてもらやええと思うとる。僕はそう思うたん。じゃけど、そのときはそういうなん知らなんだから、やっぱり予定があつて。というのが、早え話が執行部と、市長と議会が、両輪がうめえこといきょうらんや。もっと話し合いをしてもろうて、きちっとこういうことをやりてえんじゃと、議長、どう思わあというて。

これは、こんなことをざつくばらん、これ、ちょっと削除してもらいます。議運の帰り車の中で、研修の帰り、誰が言うた、福木さんも言ようた。もう9月には副市長を出さにゃおえまあ、どねえなつとんじゃろうか知らんわけ。わしに聞いても知るかというて、聞けえ、後ろへというて、僕はこういう言い方をした。ごめんなさい、削除してくれる。じゃから、あえて。そういうことももう議長が知つとってどうなるというなのも、7月のきょう、悪いけど28日じゃからな。もう言うちゃあ悪いけど。こんなこと、変な話しようる、下山さん、流れのことを言ようるだけで。もう知って動きょうらんと8月には印刷物をつくって9月の議会に間に合うて8月31日にせにゃおえんわけじゃ。そんなことはせずに、せえでこんだらしてから、今度は人事にかかわることはなるべくは反対せんもんじゃ、あえて。じゃけえ、いうたら知ら

なんたら反対せにやおえんようになって質問も出て、質問攻めになって、その人の人生もとまったりみんなもおかしゅうなるけえ、きちっとやってもらわな。やっとな新しい選挙が終わってなったのに、またおかしげなことになるんじゃねえかと思う。議長はいや、それはわしは知つとんじゃけどしゃべらんだだけで、副議長はしゃべらんというんじゃそれもいたし方ねえけど、僕はちょっと今そういうことを思った。そういう不信感があるから、あえてさっきのことを言わせてもろうたん。後出しじゃんけんで後からこれも出たんじゃといや何かおかしい。

言いたかったけど、ここの今、説明の端2.2へくから、それをしてほしかったん。体験圃場が欲しいけえ0.8ふやすというて、そんなことを本会議の6月議会が終わって7月にしてからそれが今時分出ようたらおえるか。舌の乾かん間にぼろぼろぼろぼろ変わって、たまったもんじゃねえ。

○委員長（下山哲司君） 総括で一つことを言わせていただきます。

市長におかれましても、変わった事業、変わった委員会とかそういう新しいものを手がけるときには議長には報告をしといていただきたいというふうに思います。それが市長の責務でもあると思うんです。議会対策のない行政はありませんから。それは何が大事なのかというたら、市長から議長に言うて、皆さん全員に議員に言う必要はないこともあるし、言わにゃいけんこともあるんですけど、それは議長に言うて議長が判断をしていただいて、これはみんなに知らしめてもらわにゃならんということになれば、全協を開いて全協でやっていただける。全協だけ緊急で開くというのもオーケーですから、議会運営としては。それはもう議会運営委員会でもオーケーをしますから、市長が大事なと思うたら議員を集めて説明をしてください。後から説明をいただくと必ずトラブルが起きますので。これは事前審議には当たりませんから。議案が出たものなら事前審議になるんですが、構想の場合は事前審議じゃありませんので。そういう心がけで議長とよく相談をして議員に徹底できるように努力をお願いいたします。きょうお願いしときます。

よろしいですか。ほかにありませんか。

○委員（北川勝義君） ちよっ、ちよっ、ちよっ、ちよっ。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） このことじゃねえ。さっきの議会基本条例の報告会なんじゃけど、今これ、11月の去年の行事予定表をもろうて見よんじゃけど、3日があかいわ祭りがあつたり、せえから20日が去年はワインフェストじゃったけえ、ことしは19日がワインフェストになる言よんじゃけど、そう思うて見たら、下山さん、五、六日ぐれえから十五、六日ぐれえまでのときじゃたらええかもしれんな。日程の話。

○委員長（下山哲司君） はあはあはあ。2日はかかるけえな。

○委員（北川勝義君） じゃけえ、日程のときの、そのときじゃたら晩じゃけど、それ以外は余り後ろになったら今の12月議会のことがあろうから議運があるけえ。

○委員長（下山哲司君） 前は稲刈りがあるし。

○委員（北川勝義君） そうそうそうそう。今、そこらを調整してほしいというのを。日にちがもうそのくれえしかねえかなと思う。

○委員長（下山哲司君） 局長のほうにお願いしときます。特に慎重にお願いします。

○委員（北川勝義君） それで、お願いが、7日が岡山東のJA農協の年金受給者友の会の総会をするというこって、倉敷で細川たかしと長山洋子のジョイントコンサートをするけど、準でも行かせてくれえというて総代会まで、物すげえ3,000人ほど行くんですけど、2,000人か、しとんで、この日に行って帰ってから晩に出てこいというたら出てくるんが少のうなるかもしれんので、年金対象者になる人も入れちゃるといふことに友の会の役員会で決まっとなで、その7日だけはちょっとあけてえちゃってくれにやどうも来る人が場所に行っても……。

○委員長（下山哲司君） はい、局長、それをちょっとメモしといてください。

○委員（北川勝義君） いやいや、ほんま、冗談じゃのうて晩に行ったらおらんが。吉井やこう行ったら絶対来りゃへんで、晩には。そう思うて。

それで、このことで今回いろいろ考えて、副委員長や委員長が考えてくれとんじゃけえ、ええんじゃけど、できたら車座じゃねえんじゃけど、24日に言わにやあおえまあけど、農協も今ごろ変えて、今こういう状態じゃろ。こうやってやりようということはもうやめよう言よんじゃ。前に執行部がおって、後ろで皆が聞きようのような。マイクを真ん中へ置いて、センターへ置いてくるって車座で意見を言よんですよ、順番に。とりやすいからで。ようけの30人も集まってやりようするときには、理事会は別の話で、そうやってやるんで、できたらお願いとしてじゃけえ。考えてほしいのは治徳さんも言われようた話じゃねえけど、話ができることが決まったりやり方を変えたら報告会という、報告会というか、座談会でも集まって3つぐれえグループをちょっとしてもろうたほうがええなど。車座でもろうたほうがええんかなと思うたり。ちょっとお願いします。

○委員長（下山哲司君） やりやすい方法を考えますので、案をつくっておきますんで。

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければこれで終わりたいと思いますが、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） 日にちは大体決まらんもの、11月のはもう。今言うような。

○委員（原田素代君） まだまだ。

○委員長（下山哲司君） 日にちのほうは局長にお願いせにやおえん。

○委員（北川勝義君） 今言うてもな、1、2、3、4、5まで日曜じゃけえな。6、7で、8、9、10ぐれえしかとれんで、もう。

○委員長（下山哲司君） 案をくれなんだらよそと重なっとなつちやおえんがな。

○副委員長（福木京子君） 閉めてないんじゃろう。閉めたん。まだじゃろう。

○委員長（下山哲司君）　じゃから、案を出してもろうたら。

○副委員長（福木京子君）　ちょっとどっちかして。閉めるか、閉めた後するか、大事なことはきちっとするか。

○委員長（下山哲司君）　はい。それでは……。

○副委員長（福木京子君）　議長が何か、ちょっと。

○委員長（下山哲司君）　議長、ありますか。

○議長（金谷文則君）　ちょっと今、何か副議長がちょっと。

○委員長（下山哲司君）　はい、それでは佐々木委員。

○副議長（佐々木雄司君）　よろしいですか。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○副議長（佐々木雄司君）　先ほど北川委員がおっしゃっていた内容にも本当一致する話で、どのタイミングでといいますか、誰が言うんだっていうところが全然できてなかったんで、今話をしましたら僕がという話だったんで、ちょっと御提案といいますか、皆さんに御検討をお願いしたいなと思うんですが。

私と議長と議運の委員長のほうでこの間からお話をしております特別委員会の設置、これを今後どういうスピード感でやっていきたいと思いますかということです。特別委員会も、先ほど言いました庁舎建てかえ（後刻訂正）の特別委員会のアイデアなども先進地視察でいただいてまいりました。こういったようなものも今後議会のほうで適地選考も含めてどこがいいのかと、住民の意見というのはどういったように吸い上げていくのかとか検討していかなければいけないということもありましょうし、山陽団地の活性化の話も山陽団地を活性化すれば全市の未来に明るい兆しが出てくるのかと言われれば、赤磐市全体の活性化を考えていかなければいけないということもまちづくりのアイデアとしてまたあると思います。そういったようなものも議会のほうで今能力はあれども発揮する場所がないので、だから特別委員会というものはやっぱり設置していかなきゃいけないと思うんです。数多くそのほかにも報告会というようなものがよりよい形になっていくために市民との意見交換会というものをどういうぐあいにしていくのかというようなところの検討の委員会とか、いろいろあると思うんです。

そういったようなところのもとになります、先ほどちらっと言いましたけども、新しい議会を目指す特別委員会でも名称は何でもいいんですが、今私たちの赤磐市議会にこういったものが欠けていて、必要なかということからの検討を始めるようなところも含めて、特別委員会の設置っていうものを考えていただけたらなというふうに思ったりもするんですが。

○副委員長（福木京子君）　委員長、いいですか。

○委員長（下山哲司君）　はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君）　最初の庁舎の建てかえ何やらかんやら、まだ決まってないでしょう。こんなのを先々されたらおかしいんじゃないの。だから、ちょっと言葉を選んでください

よ。何かおかしいよ。

○議長（金谷文則君） 今ね……。

○副議長（佐々木雄司君） いや、私の発言なんで、私がちょっと発言を訂正いたします。

庁舎の建てかえが決まってるわけではなくて、庁舎のあり方です、ごめんなさい。庁舎のあり方についてどういう感じにしていくのかということなんで、ここで訂正させてください。

○委員長（下山哲司君） はい。ちょっと1つ議長に申し上げておかにゃいけないのんですが、いろんな検討委員会とかというのは別にしょうるからそれに対してのというんじゃないしに、議会としての考え方をまとめるというのは議長が中心になって各委員長さんなら委員長さんに集まっていたいて、意見を聞いて議会としての考え方というのを持つような姿勢は必要だと思うんです。そういうことが赤磐市には少し欠けとんで、そういうことについて議長が先頭に立って汗をかいていただきたい。きょうはそういう要望だけ議長にしときますので、御検討ください。

それで、まとめられませんか。そういうことでお願いします。

○議長（金谷文則君） はい、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 今、議運の委員長からもくしくもおっしゃられたように我々議会としてもちゃんとしていくように、今言われたように委員長と、まず委員長と一緒に御相談をしながらちゃんとしたことをやっていきたいというふうに思ってますので、皆さんの御協力のほどをよろしくをお願いをしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、もうないようですので、以上をもちまして第7回議会運営委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午前11時10分 閉会